



「那覇港新港ふ頭地区 ふ頭再編整備事業着工式」を 開催しました！

令和7年3月2日、沖縄県那覇市のパシフィックホテル沖縄において、那覇港新港ふ頭地区ふ頭再編整備事業の着工に伴い、「那覇港新港ふ頭地区ふ頭再編整備事業着工式」を開催しました。

本事業箇所である那覇港は沖縄の物流拠点であり、取合せ品、完成自動車、製造食品、飲料等といった住民、観光客等の人々により利用・消費される貨物の取扱いが大半を占めています。これらの貨物は、沖縄への入域観光客数の増加や全国を上回る経済成長等と連動し大幅な増加傾向となっており、今後の「強い沖縄経済」の実現により一層の増加が見込まれています。この取扱貨物量の増加に伴い、輸送手段となる船舶の大型化も進んでいます。

本事業は、大型化した船舶が係留するための岸壁増伸や、増加した貨物を取り扱う新たな荷捌き地を整備するものです。また、整備される岸壁は「耐震強化岸壁」として整備し、被災時の安定的な物資供給を強化することで、沖縄の持続的な経済成長を支援します。

着工式では高橋国土交通副大臣、今井内閣府大臣政務官、玉城那覇港管理組合管理者（沖縄県知事）からの挨拶に続いて、赤嶺衆議院議員、國場衆議院議員、山川衆議院議員からの来賓祝辞のほか、波上宮獅子舞保存会による演舞や、くす玉開披を

行い、祝意とともに物流拠点としての機能強化とサプライチェーンの強靱化に係る期待が示されました。

高橋副大臣は、「整備に着手する岸壁は、那覇港において初となるRORO船（※）の貨物を取り扱う耐震強化岸壁であります。大規模地震の発生時においても機能する、強靱なサプライチェーンが実現するほか、沖縄における離島とのネットワークを強固にし、集落の孤立を防ぐことに繋がります。本事業を着実に推進し、那覇港の発展に全力で取り組んでまいります」と述べました。また、今井内閣府大臣政務官は、「海に囲まれた沖縄では海上輸送は非常に重要です。新型コロナウイルス感染症拡大による影響から沖縄の観光経済活動が順調に回復する中、沖縄の更なる振興のためには港湾の発展は欠かせません。本事業の着実な実施に向けた支援に全力を尽くしてまいります」と発言し、日頃より那覇港の整備・振興にご尽力いただいている方々への感謝と整備事業の着実な推進に向けて挨拶を述べました。

沖縄総合事務局も安全第一で早期の完成を目指し、引き続き努めてまいりますので、関係各位のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

※RORO船：トラックなどが直接乗り込んで貨物を運搬できる船舶のこと。



今井絵里子内閣府大臣
政務官の挨拶

高橋克法国土交通副大臣
の挨拶



くす玉開披



那覇港新港ふ頭地区ふ頭再編整備事業

お問合せ先
開発建設部 港湾計画課
☎098-866-1906